

## 令和6年度 ほどほどの会

日時:2024年8月 20 日(火) 15:30~17:30

場所:常盤台病院

参加者:田中(わおん)、加藤(リンク)、藤井(常盤台病院)、芳垣(区役所)、田村・早川(基幹相談支援センター)、小池(港北病院)(ZOOM 参加)、霜島、新井田(あかね工房)、佐藤若(生活支援センター)(敬称略)

### 【議題】

#### 1. ケース検討

##### ①継続ケースの経過

###### 〈常盤台病院〉

施設入所に向け面談日設定していたが、本人強い拒否示される。無理強いすると病状悪化も懸念されたため、ひとまず延期。本人は幻聴の影響もあり長男との生活を望んでおり、同居できないことを長男から話してもらいたいが長男の反応も良くない。

###### アイデア:

病状悪化することは考えられるが、本人が進むためには直面化も必要。家族を含めた会議を設定する自宅に帰るための実績作り、病院以外の環境で落ち着いて過ごせることを証明するためと施設を促す長男としては本人がどうなったら同居できそうなどあるのか確認する

ご本人との前に、まずは病院と家族で方向性について話し合いたいと伝えたと長男のハードルは低くなるか→主治医・長男と、本人の前にまず病院側と方向性すり合わせからできるよう調整していく。

###### 〈港北病院〉

・昨年度のケース検討後、区役所へ法律相談をした方。本人が第三者へ金銭管理を依頼したい希望あれば、後見人設定を進めていく。親族との関わり方はこれからも変わらないと思われる。

→本人の状態は大きく変わらない、主治医としてもこれ以上治療の余地なし。後見人設定しサービスを入れられるとよいつの見込み。援護機関は港南区だが、住所を病院へ移しているため保土ヶ谷区で退サポ検討か

##### ②新規検討ケース

###### 〈常盤台病院〉

88歳 男性 双極性障害 金沢区で妻、次男と同居だったが妻の具合悪く、自宅への退院は拒否

ADL 自立しているが誇大妄想あり、服薬中断

→家族が本人と面会した。家族の心配としては同居後に散財してしまうこと。本人は飲酒できないのであれば単身生活したい、施設は希望しない。

###### アイデア:

家族が様子を見に行けるくらいの距離で、往診や訪問看護が状態把握できる体制とし単身生活か

こだわりがなければ病院を変えて金沢区で居所設定

家族申し立てで成年後見設定

入院中から本人と家族の資産を分け、本人の使える金額を限定しておく  
ケアマネつけておき、ADL低下した段階で支援導入できるようにしておく。妻のケアマネと同じ人についてもらうか  
福祉的な動きができる訪問看護(金沢区、リーフ)を入れる

## 2. 常盤台病院 OT との協働活動

①7月23日(火)塗り絵のプログラムに6名参加予定

→塗り絵のプログラムに参加、今回が初参加の方も。「地域の空気を感じられてよかった」「緊張したがまた参加したい」など積極的な意見があがった。参加者のうち1名、日中支援型のグループホーム入所を進めていく予定。  
次回10月に参加予定。

## ②出張あかね工房

あかね工房利用者さんより、常盤台病院へ出向き実体験の報告会

日時:9月17日(火)13:30~14:30

参加者:利用者さん2名(男性45歳、女性64歳)

精神科病院退院し、グループホームやあかね工房の地域生活へ繋がった方が参加予定

常盤台病院に入院経験のある方から、インタビュー形式で地域移行の実体験を語っていただく。

流れ:あかね工房紹介→ご本人紹介→実体験お話→質疑応答

活動報告:10月中目安で新井田氏より掲載記事(利用者さんの感想など)書いていただき、メンバーへ送付  
ほどほどの会より参加者:田中氏、早川氏、吉垣氏 各グループにファシリテーターとして入る

## 3. その他

次回:2024年9月17日(火) 15:00~17:00(出張あかね工房終了後のため繰り上げ) 場所:常盤台病院